

～ ノウフク・アワード2020 優秀賞受賞！！ ～



一之貝地区の棚田



UNEHAUSの定食(例)



減農薬で栽培したお米



農園でのばれいしょの収穫

## 経緯

- 前身の「ユニバーサル農園芸えちご」を経て2011年4月にNPO法人の認証を受け、その後、2019年3月に「認定NPO法人」に認定される。
- 耕作放棄地や空き家が目立つ長岡市の中山間地域、一之貝集落に地域活動支援センターUNEHAUSを設置し、水田1.4ha、畑0.8ha（2021年4月現在）を障がい者と生活困窮者、地域の高齢者と協働耕作し、農産物等の加工・販売を行っている。
- 2013年2月、NPO法人としては新潟県初の認定農業者に認定。
- 障がい者の日中での活動を支援する取組として、1日平均8～9人の農作業の訓練を実施。



## 取組

- 『UNEHAUS』を拠点に障がい者と地域住民との交流を図るため、農業（減農薬米、野菜の栽培）のほか農家レストラン・農家民宿を経営、各種イベント等を開催。
- 2020年度から農福連携人材育成支援事業を活用して農福連携サポーター養成講座を開講し、人材育成にも取り組んでいる。
- 地域おこし、障がい者の仕事おこし、高齢者の生き甲斐づくり、生活困窮者の居場所づくりの活動が評価され、「ノウフク・アワード2020」（農林水産省）において「優秀賞」を受賞。

## 今後の展望と課題

- 「ノウフクジョブ（山に自生しているクロモジ、ヨモギ、笹などを採取し、薬品・薬用会社等に販売する古くて新しい取組）」を創設することで、大勢の障がい者、生活困窮者、高齢者が集うことが可能となる。
- ひとつの敷地内で多世代が過ごす「ごちゃまぜ福祉」という産業を導入することで、このままでは消滅してしまう里山集落の維持・先人の知恵・文化・伝統を次世代にバトンタッチし、支え合い、安心し誇りをもって生きられるコミュニティを目指したい。